

## 第3次大田原市行政改革大綱に基づく 行政改革年度別実施計画の実施状況報告(令和元年度実績)

☎ 総務課 ☎ 6階 ☎ (23)8702

本市では、第3次大田原市行政改革大綱に基づき、年度別に具体的な取組を「実施計画」にまとめ、行政改革を推進しています。実施状況は、市職員で組織する「行政改革推進本部会議」において進行管理を行い、市民組織からなる「行政改革推進委員会」に報告し、助言や提言をいただいで翌年度以降の取組に反映しています。

※年度別計画の達成状況は「a：ほぼ達成(90%以上)、b：大半を達成(80%以上)、c：遅れている(60%以上)、d：未達成(60%未満)」の4段階で評価しています。

### 1「自助・共助・公助のまちづくりの推進」

小項目	年度別計画	取組実績	評価
自主防災組織の推進	20組織の自主防災組織の立ち上げ	18自治会で17の自主防災組織の結成。 これまでに123自治会で112の自主防災組織が結成された。	b
地域協働の推進 (特定健康診査、がん検診の受診率向上)	①特定健診受診率 54% ②特定保健指導実施率 44% ③がん検診 ・肺がん 51% ・大腸がん 50%・子宮がん40%・前立腺がん52%	保健委員や健康づくりリーダーなどと連携して、地域協働による健康づくりを推進した。 ①特定健診受診率 50.0% ②特定保健指導実施率 60.8% ③がん検診 ・肺がん 45.0% ・大腸がん 44.8% ・子宮がん 34.3% ・前立腺がん 43.4%	b
保育園民間委託の推進	①4月から移管先法人による「くろばね保育園」の運営開始 ②新たに「ゆづかみ保育園」の民営化に向けた準備を開始	①平成31年4月にくろばね保育園を学校法人仁平学園 <small>にひら</small> に移管し、同法人による運営が開始された。 ②令和3年4月から、ゆづかみ保育園の民営化に向けた準備を開始した。	a
道路補修業務の包括委託の推進	一部業務委託の実施	来年度から防塵舗装の民間委託を考慮し、令和元年度は3名の人員を削減し経費削減に努めた。	b
民間委託等の推進	・対象となる公の施設の選定及び導入検討 ・民間委託の導入(1施設)	○前年度から継続して導入を検討していた1施設について、導入を見送ることとなった。 ○指定管理者制度を導入している16施設の指定管理者に対して評価を実施し、施設の管理運営について指導や助言を行った。	c

### 2「市民サービスの向上」

窓口業務のアウトソーシング	・窓口形態の決定 ・民間委託する業務の範囲決定 ・民間委託導入の手続き	大田原市単独では進展がなく、令和元年11月に発足した「北那須3市町広域連携推進検討会」における連携案件として「窓口業務委託の共同発注」を検討することとした。	c
さまざまな情報発信手段を用いたの情報発信	①市広報紙の発行部数 ②記者会見等での情報提供数 ③市ホームページアクセス数 ④各種媒体での情報発信	【目標】①月21,000部、②210件、③975,000件、④フェイスブック250件、ユーチューブ30件、メール配信300件、メール配信登録者数6,000人 【実績】①月21,500部、②187件、③1,280,256件、④フェイスブック622件、ユーチューブ22件、メール配信1,834件、メール配信登録者数7,357人	b
電子申告の普及推進	①PRの実施 ②電子申告率68%	①ホームページでの周知や税理士会への依頼、個別案内書の送付などを実施 ②電子申告率 69.07% 申告件数86,331件のうち電子申告件数59,630件	a
事務事業の検証、改善	事務事業の検証の実施 コスト削減額 10,000千円	○行政評価の結果により、9事業の重点化、71事務事業についての予算反映 ○事務事業評価の結果から8事業を選定し、検証や改善の提案を行った。改善による減額：5事業24,017千円	a
ICTを活用した事務プロセスのシステム化	業務プロセスのシステム化 5業務	市民の声管理、令違番号付番、選考委員会予定表、下水道事業辞令作成、資金計画作成、水道申込受付をシステム化 計6業務	a

### 3「効率的な執行体制の確立」

定員適正化計画による定員管理	対前年△4人 財政効果額23,880千円	対前年4人減(平成30年度職員数575人 令和元年度職員数571人) 財政効果額24,320千円	a
多様な人材の確保、育成のための人事評価制度等の充実	①新たな職員採用制度の見直し作業の着手 ②人事評価制度の見直し	①SPI総合検査や集団面接、集団討論等導入の検討を実施した。 ②人事評価を実施し、昇給・勤勉手当に反映し、業績評価にその他の項目を追加した。	a

4「行政体制の見直し」

組織機構の見直し	組織及び体制の見直し 検討・実施	各課へのヒアリングを実施し、効率的な組織改編を実施した。 【課の再編】なし 【係の再編】1係減（2係増、3係減）	a
----------	---------------------	--	---

5「持続可能な財政構造の確立」

財政の健全化	①市債残高 ②財政調整基金残高 ③経常収支比率 ④実質公債費比率 ⑤将来負担比率	【目標】 ①170億5,000万円以下 ②10億円以上を確保 ③前年度以下（H30年度95.5%） ④25%以下 ⑤350%以下	【実績】 ①165億2,900万円 ②10億1,400万円 ③97.9% ④7.1% ⑤63.7%	b
市税等の徴収率の向上	①市 税 98.9% ②国 保 税 91.9% ③介護保険料（普徴） 92.2% ④保 育 料 99.4% ⑤住宅使用料 99.1%	①市 税 99.3% ②国 保 税 96.0% ③介護保険料（普徴） 94.5% ④保 育 料 99.6% ⑤住宅使用料 96.8%		a
広告事業による税 外収入の確保	①ホームページバナー広告事業 ②市広報紙広告事業 ③市営バス車内広告事業 ④市指定ゴミ袋広告事業 ⑤広告付き案内板設置 ⑥広告用モニター設置 ①～⑥の計 2,833,000円 ⑦その他の広告事業の実施	① 74,000円 ② 450,000円 ③ 327,000円 ④ 300,000円 ⑤・⑥ 187,500円 ①～⑥の計1,338,500円 ⑦その他の広告事業 ・公用封筒作成 529,600円 ・市営バス時刻表作成 649,750円 ・子育てガイド作成 230,000円 ・暮らしのガイドブック作成 2,800,000円 ①～⑦合計5,547,850円		a
ふるさと納税寄附 金の促進	①専用サイトでの周知 ②魅力ある特産品等の拡充 ③ふるさと納税寄附金目標額 年額 120,000 千円	①ふるさと納税ポータルサイトでのPR強化 ②既存事業者の謝礼品の拡充（コーヒーセットなど） 新規事業者の登録（11事業者）（自然薯、コンサートチケット など） ③寄附金額：104,703千円		b
時間外勤務時間の 削減	時間外勤務時間数（年間） 49,000時間	【実績】 41,576 時間 目標に対し 15.15% 減		a
経費の節減（事務改 善マニュアルに基 づく削減）	財政効果額 20,000千円	○事務改善マニュアルに基づく経費削減 財政効果額 合計 12,807,242 円 （内訳）①郵便料金 6,537,449 円 ②再生トナー使用 2,103,770 円 ③複合機一括管理 1,607,252 円 ④コピー用紙 2,186,126 円 ⑤廃棄文書の溶解処分 372,645 円		c
市有財産の有効活 用	①公有財産売却 4 件 16,000千円 ②公有財産払下 8 件 4,000千円 計20,000千円	・未利用の土地・建物の状況 11件、5,360㎡、56,031千円 ・未利用の土地・建物の売却 ①公有財産売却 3 件8,915千円 ②公有財産払下10件6,301千円 計15,216千円		c

6「公営企業等の経営健全化」

下水道使用料等の徴 収率の向上	①下水道使用料99.74% ②受益者負担金98.50%	①下水道使用料99.61% ②受益者負担金96.61%	a
下水道未接続対策の 強化	下水道水洗化率93.8%	下水道水洗化率93.4%	a
公営企業会計の適用	・固定資産台帳整備 ・移行準備	令和2年4月から下水道4事業に公営企業会計適用	a
水道料金の徴収率の 向上	①現年度分99.85% ②過年度分72.05%	①現年度分99.86% ②過年度分77.85%	a
水道有収率の向上	①漏水調査の実施 ②老朽管更新 ③有収率84.0%	①漏水調査の実施 大田原系 8,810戸 延長115.2km ②老朽管更新2,260.2m ③有収率82.5%	a

※詳細は市ホームページで公開しています。「行政改革」と検索してご覧ください。